

製品名: RGS5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17099**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	RGS5
別名	RGS5; Regulator of G-protein signaling 5; RGS5
遺伝子 ID	8490.0
SwissProt ID	O15539
免疫原	抗血清はヒト RGS5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 89-138

背景

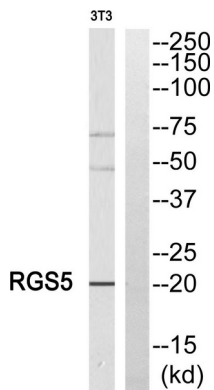
この遺伝子は、G タンパク質シグナル伝達調節因子 (RGS) ファミリーのメンバーをコードしています。RGS タンパク質は、GTPase 活性化因子として作用することでヘテロ三量体 G タンパク質の制御に関与するシグナル伝達分子です。この遺伝子は、低酸素誘導因

子1依存性の低酸素誘導遺伝子であり、内皮細胞のアポトーシス誘導に関与しています。また、この遺伝子は、血圧上昇に寄与する染色体1q上の3つの遺伝子の1つでもあります。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されています。[RefSeq提供、2011年12月]機能: Gタンパク質 α サブユニットのGTPase活性を上昇させることでシグナル伝達を阻害し、不活性なGDP結合型へと誘導します。G(i)- α およびG(o)- α には結合しますが、G(s)- α には結合しません。類似性: RGSドメインを1つ含みます。、

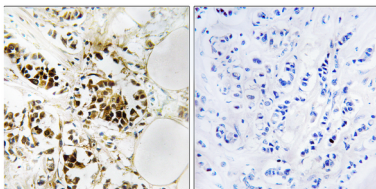
研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; Gタンパク質シグナル伝達; 低分子Gタンパク質; 調節因子; 心血管; 血管新生; 血管新生因子; 血液; 血圧調節; 心臓; 肥大

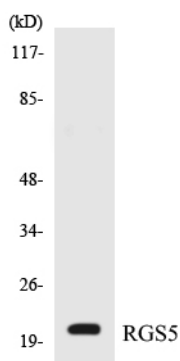
画像データ



RGS5抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはRGS5ペプチドでブロッキングされている。



RGS5抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右レーンはRGS5ペプチドでブロッキングされている。



RGS5抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。